2劇団 初の合同公演

人のつながりテーマに

本番に向けて稽古に励む出演者＝伊豆の国市の韮山時代劇場

伊豆の国市を拠点に活動する「劇団DAN」と、三島市を拠点に活動する「劇団夏組」が26、27の両日、合同公演「夏の庭」（静岡新聞社・静岡放送後援）を伊豆の国市の韮山時代劇場で行う。両劇団による初の合同公演で、本番に向けて団員が稽古に励んでいる。（大仁支局・市川淳一朗）

26、27日に伊豆の国 団員が稽古励む

「夏の庭」は作家湯本香樹実氏の同名小説が原作で、人の死に興味を持った3人の少年と1人の老人との心の交流を描いた物語。劇団夏組にとっては2回目の上演で、同劇団の佐次靖子さんが脚本を手掛けた。

出演するのは両劇団の10～60代の15人。出演者は同劇場などを会場に、演技や舞台装置の最終確認を連日行っている。劇団夏組の鈴木道子代表は「人のつながりをテーマにした物語なので、公演を見て温かい気持ちになってもらえたら」と話した。

26日は午後6時半、27日は午後2時半開演で、上演時間は約1時間50分。チケットは一般千円、高校生以下500円。申し込み、問い合わせは佐次さん〈電090（1289）4719〉へ。

「う宮茶」デザイン一新PR

富士山や茶娘 和風に

JA富士宮

富士宮市のJA富士宮関係者が21日、今月からパッケージを刷新して販売している緑茶ボトル缶「う宮（みゃー）茶」のデザイン変更を報告するため、市役所に須藤秀忠市長を訪ねた。考案したデザインが採用された県立富士宮東高3年の塩沢海斗さんも同席した。

2004年の発売以来初めてのパッケージ変更で、新デザイン案は同JAが昨年に市内高校を対象に募集。3校から18作品が寄せられた。塩沢さんは「日本画の技法で和風に仕上げた」といい、富士山やたなびく雲、茶娘を渋い色合いで表現した。

う宮茶は、富士宮産茶葉を100%使用した同JAの主力商品の一つで、渋い味わいが売り。塩沢さんは「観光で訪れたお客さんに買ってもらえたら」と話した。市内のファーマーズマーケット「う宮～な」やJA各支店などで取り扱っている。（富士宮支局・白柳一樹）

デザインを刷新した「う宮茶」をPRする関係者＝富士宮市役所

東伊豆・稲取漁港直売所 指定管理者導入へ

東伊豆町は23日の町議会全員協議会で、稲取地区に整備する農林水産物の直売施設について、指定管理者制度を導入する方針を明らかにした。管理者は伊豆漁協（下田市）を軸に選定する。

直売施設は役場前の稲取漁港区域に建設を予定する。漁港を管理する県と協議し、「荷さばき」となっている利用目的を「水産振興」にも拡大する方向で調整する。

町の計画によると、直売施設は伊豆漁協稲取支所（同町）とJA伊豆太陽（同市）による共同運営。キンメダイや伊勢エビ、ニューサマーオレンジなどの特産物を中心に販売する。平屋建てで、延べ床面積は約400平方㍍。2018年夏に着工し、19年春のオープンを目指す。

温泉街として知られる稲取地区の中核施設として、回遊性とにぎわい創出につなげ、1次産業の振興と交流人口の拡大を図る。

町長選に2陣営 町議22陣営出席

長泉・事前説明会

長泉町選挙管理委員会は23日、町長選と町議選（9月12日告示、17日投開票）の立候補予定者事前説明会を町役場で開いた。町長選はともに新人で前県議の高田泰久氏（71）と前副町長池田修氏（60）の2陣営が出席した。定数16の町議選には現職、元職、新人の計22陣営が参加した。

町選管や裾野署の担当者が立候補の届け出や選挙運動時の注意点について説明した。

町選管によると、6月7日現在の選挙人名簿登録者数は3万4297人（男性1万7091人、女性1万7206人）。

18年度施策で提言

裾野市議会会派「市民クラブ」

裾野市議会会派「市民クラブ」は23日、2018年度の施策に関する要望書を高村謙一市長に提出した。会派議員2人が市役所で高村市長に手渡した。

都市基盤整備や地域振興、財政健全化など11項目を盛り込んでいる。JR裾野駅西区画整理事業は「財政負担が大きく効果が見込めない」として廃止を含めた修正を求めている。下水処理はコスト面から最小限とし、家庭用合併浄化槽や集落排水処理を組み合わせた分散処理の推進を提言している。

9月定例会 今月30日開会

伊豆の国市議会議運

伊豆の国市議会は23日、議会運営委員会を開き、9月定例会を30日に開会すると決めた。会期は9月29日までの31日間。

4億8300万円を追加する2017年度一般会計補正予算案や、16年度一般会計歳入歳出決算認定など23議案を審議する見込み。補正予算案には江間工業用地の整備工事費7900万円などが盛り込まれている。

一般質問は9月4、6、7の3日間で14氏が行う。

高校会議所が活性化イベント

26日、富士宮

富士宮市の5高校生徒でつくる富士宮高校会議所は26日午後2時～4時半、地域活性化イベント「ニュー・ウエーブ・プロジェクト」を同市の貴船公会堂で開く。

防災の日を前に企画した「風祭川について知ろう」では、同会議所の主導で市内店舗などが開発した防災菓子を振る舞う。富岳館高演劇部による発表や中高生が今後の富士宮の姿を話し合うグループワークもある。

問い合わせは同会議所の時田定則事務局長〈電090（5008）5439〉へ。

大形看板を新装設置

JA富士宮「う宮～な」

大形看板の前で設置を祝う関係者＝富士宮市の「う宮～な」

富士宮市のJA富士宮は21日、同JAが運営する同市外神のファーマーズマーケット「う宮～な」に設置した高さ8㍍余りの大形看板の除幕式を同所で開いた。農業情報発信基地「富士山駅」として同所に経済事業を集約化する構想の一環で、さらなる発展への思いを込めた。

2008年に開業したう宮～なは16年度、年間売り上げが10億4千万円となり、県内のJAファーマーズマーケットの中で最も売上高が多かったとみられる。10億円超えの節目に合わせ、これまでに設置されていた看板を付け替える形で新装した。看板上部には世界遺産富士山のデザインを配した。

式典には同JA関係者や来賓らが出席。新パッケージデザインで今月に販売を始めた「う宮（みゃー）茶」もお披露目した。

狩野川砂防施設 早期整備を要望

伊豆市、議会が国に

伊豆市と同市議会でつくる狩野川直轄砂防促進期成同盟会は23日、国土交通省に牧野京夫副大臣（参院静岡選挙区）を訪ね、国直轄の狩野川周辺の砂防施設について、早期に整備するよう要望した。

会長の菊地豊市長や副会長の三田忠男議長らが要望書を手渡した。整備が計画されていたり、既に進んだりしている砂防施設のうち、公共施設や医療・福祉施設、緊急車両の主要通行ルートになっている道路などに近い砂防堰堤（えんてい）をできるだけ早く事業化、あるいは工事完了するよう求めた。

菊地市長は「国の直轄で整備していただき、非常に心強い。着実な事業進捗（しんちょく）をお願いしたい」と述べた。牧野氏は「なるべく多くの予算を確保し、順次進めたい」と答えた。

自民党の勝俣孝明氏（衆院比例東海）と岩井茂樹氏（参院静岡選挙区）が同行した。

九州北部豪雨で被災地に義援金

沼津市自治会連合会

沼津市自治会連合会（榊原昭雄会長）は23日、7月に発生した九州北部豪雨の被災地に日本赤十字社を通じて638万2353円を寄付した。

7～8月にかけて市内28の連合自治会が協力を呼び掛けた。榊原会長ら役員6人が市役所を訪れ、日赤県支部沼津市地区長の大沼明穂市長に目録を手渡した。

若林市長（手前）に結果を報告する津田さん＝御殿場市役所

4年後の次回大会に向けては「個人でもメダルを目指したい」と意気込んだ。中堅手の中谷日菜香さん（函南西）は「団体戦は悔しい結果になったが、個人戦は楽しめた。津田さんは「外国人プレーヤーと対戦できた」と充実感をにじませた。

そばにいるから、できることがある。 日本郵政グループ

ままの貯金
舌かしませんか。

たとえば、こんな貯金。

□「いざという時のために」「何となく」通常貯金に入れたままのお金
□ 10年以上前にお預けいただいた定額郵便貯金
□ 民営化前にお預けいただいた定期郵便貯金
□ 満期を迎えた定期貯金
□ 償還を迎えた国債